

2024年。百周年に向けてカウントダウンスタート!

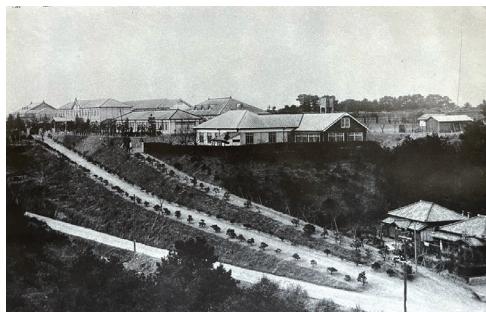
「未来につなげ知・仁・勇」



生徒による自由応募により「創立100周年記念ロゴマーク」を制作いたしました
尾上 舞さん(令和4年度卒業生)による作品です

制作者コメント

- 「100」のそれぞれに本校の校訓である「知・仁・勇(ち・じん・ゆう)」を色で表現しました。
- 「100」の「1」の部分には、本校の校章で使用しているペン先を描きました。
- 「100」の「00」の部分は、無限のマークとDNAの螺旋構造を模したものにし、本校のDNAを未来に、永遠につなげていきたい、という想いを含めました。



▲創立当時の校舎



▲現在の校舎



印 刷 行 静岡県立浜松西高等学校同窓会
題 字 齋藤 薫
編 集 町田 晃
電 話 同窓会報編集委員会
053(456)0662
デザインルーム・スカイ

発行部数 17,300部
浜松二中卒業生 2,041名
浜松西高卒業生 26,239名
(内女子6,228名)
内4年度卒業生242名(116名)



100年の歴史と伝統を土台に
「次の100年」につなげてゆきます

創立百周年記念事業 実行委員長 同窓会長
齋藤 薫 (高23回卒)

百周年記念事業のため 募金のご協力を!

同封の募金趣意書をご覧いただき、応援を心よりお願い致します。

立浜松第二中学校として開校し、1948(昭和23)年に静岡県立浜松第二高等学校、1949(昭和24)年に静岡県立浜松西高等学校へと改められ、来る2024(令和6)年に創立百周年という記念すべき節目を迎えます。

この誇るべき百周年を盛り上げるべく、学校、同窓会、後援会、PTAが一体となって実行委員会を立ち上げました。100年という歴史と伝統は、すなわち3万人に迫る卒業生、一人一人の活躍の軌跡でもあります。実行委員長を務めさせていただく重責に、身の引き締まる思いです。

実行委員会では、校訓である「知・仁・勇」を将来にわたり体現する人材の育成、また同窓生と在校生の連携を深めていく目的のもと、様々な記念事業を実施してまいります。

記念事業の一つとして計画しているのが、「浜松西高海外フィールドスタディ基金創設」です。

当地域からASEAN諸国で事業を開催している企業・先輩への訪問・研修の機会を、在校生に提供してまいります。

この研修が、進学で一旦当地域を離れて戻ってくるきっかけになればと思ております。

他の記念事業につきましても、本ホームページにて紹介してまいりますので、是非ご覧ください。

100年の歴史と伝統を土台に、記念事業が次の100年に向けてのスタートとなりますよう、皆さまからの一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

これから西高生たちに早く「世界」を感じてほしい「海外フィールドスタディ」が永く続くよう皆さまのご協力ををお願いいたします。

後援会長 鈴木 俊宏 (高29回卒)

2024年(令和6年)11月20日に浜松西高は創立百周年を迎えます。学校・同窓会・後援会・PTAは、創立百周年記念事業 実行委員会を組織して記念事業の準備を進めております。記念事業の一つに「海外フィールドスタディ基金創設」があります。「やらまいか精神」が根付いた浜松には、浜松を誕生の地とする多くの企業があり、海外に進出して世界を舞台に活躍しています。この基金を活用して海外で活動している企業がどのように現地に溶け込み企業活動を進めているか、教室では決して味わうことができない現実(リアル)に高校生の皆さんに触れていただきたいと思います。

多くの皆様の賛同を得て継続して支援ができる基金としたいと思いますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

次回の百年に挑戦する浜松西高をみんなで応援していきましょう。

創立百年の重みを感じながら、卒業生の皆さんとともに、「百周年」をお祝いいたします。

は、卒業生の皆様が、末永く母校と後輩たちに关心を寄せてくださるおかげだと、深く感謝しております。

今年4月には、同窓会、後援会、PTA、学校による実行委員会が立ち上がり、百周年記念事業が具体的に動き出しました。記念式典、記念講演に加え、「海外フィールドスタディ」「新スクールソング」などが検討されています。本校の新たな百年の幕開けにふさわしい、生徒たちの飛躍の足掛かりとなる事業になることを期待いたします。

私の手元に、大正12年11月20日付け官報第3374号の写しがあります。



私は本校に平成9年4月から平成16年3月まで、7年間勤務していました。20年振りにこの西山台に上って感じるのは、この地に充満した独特の工芸文化。こしょくぶつ文化。

ここに、「静岡県立浜松第一中學校ヲ開校ノ件許可セリ 大正十二年十一月二十日 文部大臣 岡野敬次郎(抜粋)」と掲載されています。本校の創立記念日は、この設置許可日としています。創立百年の重みを感じながら、皆様とともに欣慰したいと思います。今後も変わらぬ御支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今までの100年に感謝し、
101年目のバトンをしっかりと
受け取ります

PTA会長 宮地 完登（高4回卒）

（高49回）です。保護者として再び西高に関わるようになり、少しでも生徒たちの成長の役に立てればという想いからPTA活動に取り組んでいます。

西高創立100周年ということで、西高PTAの歴史について少し調べてみました。資料を見ると、1947年（昭和22年）9月19日にPTA結成式が挙行されています。終戦が1945年（昭和20年）8月15日ですので、終戦からおよそ2年後ということになります。



す。世の中の価値観が大きく変わるタイミングで西高P-TAも誕生したようです。

卷之三

しい形で活動が受け継がれていると感じています。学校と家庭、先生方と保護者が密に手を取り合って生徒たちの成長を支えていく、この体制がいまだに脈々と受け継がれています。この活動が良い形で継承されていき、生徒たちの学校生活を支える一助となるよう01年目のバトンをしっかりとつないでいきたいと思います。



2023年新春の集い 収支報告書

(单位·田)

（単位：円）		科 目	金 額	摘要
収入の部	広告売上	9,315,505	広告	432件
	チケット売上	2,963,422	チケット枚数	371枚
	本会計繰入金	2,100,000	本会計より活動費として繰入	
	雑収入	48,000	恩師・来賓よりご祝儀	
	預金利息	37	預金利息	
	合 計	14,426,964		

支出の部	科 目	金 額	摘要
	会場費	4,210,597	グランドホテル会場費等
	印刷費	1,723,590	記念誌、チケット
	会議費	1,379,324	幹事会、部会経費等
	通信費	710,661	各種案内、記念誌郵送代等
	事務費雑費	51,119	文具、振込手数料等
	交際費	499,306	同窓会、懇親会等
	涉外費	2,470,476	クライアントとの打合せ等
	その他	528,000	記念品製作
	本会計総入	2,853,891	活動費返金及び総入金
合計		14,426,964	

上記の通りで報告申し上げます

静岡県立浜松西高等学校 代表幹事 尾上 定 印
第54回卒2023新春の集い幹事会 会計 藤井 哲男 印

上記の通り正確に処理され適正と認めます

令和5年4月11日 会計監査 前田 米藏 印
会計監査 大塚 哲雄 印

2023年新春の集いを3月11日㈯
振りに開催することができます。
した。感謝いたします



代表 尾上 定（高54回卒）

活性化に貢献
していきた
と思います。
今回の新方
の集いが皆と
んにとつて前
「進」む一つ
きっかけにな
れたのならま
いです。



元浜松で、さらには日本全国、世界各
地の様々な業界・分野で活躍されてい
る同窓生の存在を知りました。そして

第55回 活躍する同窓生

「2024年新春の集い」は「コロナ禍以前の従来の形で開催！」

本活動にご理解ご支援ご協賛いただける皆様につきましては、例年以上のご指導ご協力をお願い申し上げます。

代表

足立

貴之（高55回卒）



います。

さて、2024年新春の集いのメインテーマですが、循環の「環」、環境の「環」と書きまして「環(めぐる)」です。

創立100周年を目前にした99周年にあたる開催として、全ての関係者と環境に感謝をし、この素晴らしい歴史の循環を環らせて(めぐらせて)いくという想いを込めました。

本学はコロナ禍でも歩みを止めず、環境の変化を乗り越え、絆は深まり、それは新たな彩りと多様性を生み出しました。

本学はコロナ禍でも歩みを止めず、環境の変化を乗り越え、絆は深まり、それは新たな彩りと多様性を生み出しました。

全ての同窓生およびご支援いただきている皆様への感謝を胸に、新たな歴史を環らせていきたいと思います。

2024年新春の集い幹事学年である我々高55回卒ですが、約30名のメンバーにて活動を開始しております。

同窓生の繋がりの強さや、先輩方の西高への想い、地域社会の皆様の力など、期待を目の当たりにし、すでに感動の連続です。

卒業から約20年、本学の卒業生である誇りと責任に向き合えるこの素晴らしい機会を次代へ環らせてまいります。

高55回卒一同、皆様のご期待に沿えるよう努めてまいります。

また、ご支援ご協賛をしてご来場してお待ちしております。

ありがとうございました。

2024年新春の集いでは、甲子園

出場をはじめ運動部・文化部とともに大活躍した高34回卒の先輩方の還暦をお祝いします。

「感謝」を胸に、次代へ続く式典とすべく「誇り」を持って歩みを「進めて」ま

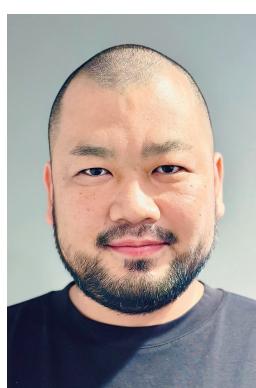
仕事・同窓会活動を通じて 地域に貢献をしていく

副代表 市原 孝浩（高55回卒）



楽器の魅力を世界へ発信

副代表 湯口 謙太郎（高55回卒）



としては微力ながらもこの地域の発展に貢献していくことができればと思ひます。

改めて振り返つてみると、西高時代の経験が今の自分の基礎になっており、2024年新春の集いのテーマでもある「環(めぐる)」を自分自身で実感しております。同窓会幹事会では副代表として、記念誌・企画とホームページなどのデジタル管理を担当しています。55回卒の仲間と共に新春の集いを行ないます。55回卒の仲間と共に新春の集いを行ないます。

良き会にできるよう、誠心誠意頑張っせんでした。

私は現在、遠州鉄道㈱で運輸事業に携わっております。マイカー保有率が多く、今後高齢化が進展するこの地域においていかに公共交通を維持していくかという課題に対し、行政やご利用者様と対話を重ね、将来のあるべき姿を模索しています。

また、会社の経営理念は「地域とともに歩む総合生活産業として社会に貢献する」であり、仕事を通じて少しでも地域貢献ができるばとの想いで日々働いています。

さて、同窓会活動に携わる中で、業種を超えて、諸先輩方や同級生とのつながりが生まれ、母校のために活動ができることに責任と喜びを感じています。諸先輩方がそうであるように、我々高55回卒も、主にこの地域に残る者を中心に戦事活動を行つてますが、活動を開始して1年、団結は強まり、新春の集い当日に向けた取り組みを加速させています。

また高校2年生の時にはイギリスへの語学研修にも参加しました。様々な歴史背景や、文化、考え方の多様性に触れることができ、自分自身の視野を広げることができました。今働いている

新春の集いメンバー 高55回卒



高55回卒の幹事会は現在30名程度で活動中です。56回卒、57回卒のメンバーも合流し、新春の集いに向けてよいよカウントダウンが始まっています。還暦世代の皆様のお祝いと共に、西高の絆を改めて実感していただける会にしたいと思います。2024年1月2日、新春の集いでお会いしましょう。

高55回卒の幹事会は現在30名程度で活動中です。56回卒、57回卒のメンバーも合流し、新春の集いに向けてよいよカウントダウンが始まっています。還暦世代の皆様のお祝いと共に、西高の絆を改めて実感していただける会にしたいと思います。2024年1月2日、新春の集いでお会いしましょう。

会社は社長がイギリス人、チームにもイギリス人が在籍、私自身も年に数回渡英することもあります。当時はまさかこんなに縁があるとは思いもしませんでした。

クラブ活動報告

**全国高校野球選手権静岡大会
浜松西高校 7-3 焼津中央高
校(7/15 10:00 焼津球場)**



蝉の鳴き声が夏を告げている中、浜松西高校野球部の夏の戦いが始まった。初戦は7月15日に焼津球場で行われた焼津中央高校との一戦。雨で一週間延期になつたにも関わらず、大勢の生徒が球場に駆け付けた。

応援団のボルテージが上がる中試合が始まると、まず試合の主導権を握ったのは西高だつた。(二回裏、4番の栗田優太郎がライトへのツーベースを放つと、エラーの間に得点を挙げ、1点を先制する。しかしその直後、先発の佐藤湧和が四球を許すと「ソソコソ」と墨を進められ、エラーの間に生還。1-1の同点となる。)

だが、この日の西高は試合の主導権

を相手に渡さなかつた。4回に主将の小林優士がヒットで出塁するとチャンスを広げ、6番の加藤駿星のセカンドゴロの間にホームに還り勝ち越すと、次の回には先発の佐藤に本塁打が飛び出すなど2点のリードに成功する。これから両チームの投手の好投もあり試合は膠着状態に。ダメ押しとなる得点が欲しい西高は8回にエラーとヒットでチャンスを作り、ここで骨折からの復活を遂げた打の切り札・進士亘基のかードを切る。この起用に応えた進士。「者生還のタイムリーツーベースを放ち墨上でガツツポーズ。スタンドの応援団も大きな歓声を上げた。その後のバッターも続くなど一挙4得点となり

そして迎えた9回、先発の佐藤がマウンドに向かう。完投なるか、と思われたが、相手打者の粘りと制球の乱れもあり1点を許し、なおも一死満塁のピンチ。ここでベンチが動き、投手交代で鈴木太智がリリーフに向かう。目前に迫つた勝利まであと少しだとい、スタンドからの激励を受けマウンドに立つと、暴投で1点を失いながらも2奪三振の好救援。7-3で西高が勝利し、マウンドとスタンドに歓喜の輪が広がつた。

また、この日は不安定な天候で試合

は一向に冷めることなく選手を鼓舞し続けた。試合後に選手に話を聞くと「応援が大きな力になつた」と答える人が多かつたのがとても印象的だつた。今後も選手が実力以上の力を發揮できるよう、全校で支えていきたいと強く実感する一戦となつた。

12年ぶりに東海大会に出場

百人一首部 藤田 信行 (高50回卒)

創部から34年目、5月下旬に行われた静岡県大会で初めて優勝。併せて、小倉百人一首競技かるた第45回全国高等學校選手権大会(団体戦)への5年ぶり2回目の出場を決めることができました。チームを牽引するのは主将の澤村夢菜(高2、四段)と副将の澤村花菜(高3、参段)の姉妹です。小学生のとき

等学校選手権大会(団体戦)への5年ぶり2回目の出場を決めることができます。チームを牽引するのは主将の澤村夢菜(高2、四段)と副将の澤村花菜(高3、参段)の姉妹です。小学生のとき

から地元浜松のかるた教室で技を磨き、本校の百人一首部で全国を目指したいと入部してきました。(二人は、8月に鹿児島県鹿児島市で行われる第47回全国高等学校総合文化祭の静岡県代表に選ばれています。選手8名の内、3将の西岡和奏(高3、参段)をはじめ



全国高校総体陸上競技大会に 出場して

陸上競技部 奥澤 真 (高2年生)



8月上旬に北海道・厚別陸上競技場で行われた全国高校総体に出場した。

走り幅跳び予選を7位で通過し、決勝は9位という結果に終わつた。

率直な感想としてはただただ悔しい。全体の記録を見ても、普段の自分の力が出せれば入賞はもちろん、優勝も狙える程のレベルであつた。インナーハイで結果を出すことの難しさを痛感した。また、県大会や地区大会との雰囲気の違いが印象に残つてゐる。大一番にすべてをかける選手たちの熱気を感じた。私はまだ2年生で、来年もチャンスがあるため、比較的気が楽だったが、後がない3年生にはものすごい気迫があつた。来年は自分がその立場になつているとと思うと、少し怖い気持ちがあつた。

彼は、私が運営する浜西バレーボーリュームクラブでインドア6人制に加え、中

学1年生からビーチバレーを始め、「二刀流」で力をつけてきました。さらに、浜松市のビーチマリンスポーツ推進事

業計画もあり、小中学生に対する普及活動にも努めています。

西高からバレー部競技で国体に選手が出演するのは1990年の田幡大輔(高43回卒)以来33年ぶりのことです。廃部から17年、西高バレー部の魂は不滅です。

西高から33年ぶりに 国体バレー部競技に 選手を輩出!

神谷 昌志 (高42回卒)



とする6名は入部してから競技かるたを始めました。高校から新しいことに挑戦をしてきた集大成と言える大会でどのような活躍を見させてくれるのか楽しみです。

「2024年新春の集い」のメインテーマは「還(めぐる)」。創立100周年の1年前として99周年にあたる開催となります。浜松西高に関わる全ての人と環境に感謝をし、この素晴らしい歴史の循環を還らせてゆくという想いをこめました。どうぞよろしくお願ひいたします。

会津紙集言回 令和5年度一船会言子
算および「2024年新春の集い」事業
計画の発表と報告の承認がされました。また、百周年記念事業の現在の概
要についても説明がありました。こち
らの情報公開については7月以降 W
EBサイトの開設を予定しております。
す。併せて記念事業にかかる募金募集
もはじまりますので、その節は何卒ご
理解とご協力のほどよろしくお願ひい

2023年
6月3日(土)
16時から、グ
ランドホテル
浜松2階 孔
雀の間におい
て総会が開かれました。同窓会会长の
斎藤薫氏の挨拶、持山西高校長による
西高の学校行事や進学状況などの報
告がありました。議題は令和4年度の
同窓会事業報告、一般会計決算報告お
よび同監査報告、「2023年新春の集
い」事業報告とその決算報告、同監査
報告、令和5年度の同窓会事業計画、



浜松西高同窓会総会が開催されました

令和4年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計 決算書

前期繰越金	18,397,166円	支出総額	5,252,030円
収入総額	5,759,253円	次期繰越金	18,904,389円

収入の部 (単位:円)

科 目	予算額(A)	予算額(B)	比較増減額(B-A)	備 考
前期繰越金	18,397,166	18,397,166	0	前年度繰越金
入会金	4,840,000	4,840,000	0	高75回卒業生 242名
基金利子分配	160	160	0	甲子園出場記念基金利子配分金
緑入金	1,000,000	753,891	△ 246,109	新春の集い余剰金
雑収入	20,000	165,202	145,202	預金利子、同窓会名簿代等
合 計	24,257,326	24,156,419	△ 100,907	

支出の部

科 目	予算額(A)	予算額(B)	比較増減額(B-A)	備 考
事務費	900,000	1,122,363	222,363	
事務局費	800,000	988,284	188,284	事務局職員給与、光熱費他
需用費	100,000	134,959	34,959	複写機リース料等
会議費	450,000	405,377	△44,623	
総会費	300,000	222,680	△77,320	総会会議費
役員会費	150,000	182,697	32,697	役員会会議費他、香典、弔電、御花代
事業費	3,550,000	3,723,410	173,410	
会報費	2,550,000	2,827,675	277,675	ホームページ運営費、会報印刷代・送料 会報編集委員会運営費等
助成費	1,000,000	895,735	△104,265	慰靈祭、激励費、西山賞、講演会謝礼 西山台チャレンジサポート事業等
次期繰越金	15,343,301	18,904,389	3,561,088	
合 計	20,243,301	24,155,539	3,912,238	

以上のとおり報告します。

令和5年3月31日 会長 齊藤 薫
静岡県立浜松西高等学校同窓会 会計 清水 孝彦

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

令和5年5月9日 会計監査 前田 米蔵 (印)
会計監査 大塚 哲雄 (印)

浜松西高同窓会のホームページ、次号の同窓会報などで紹介しますので、お気軽にご連絡ください。同窓会事務局は祝日を除く毎週火曜午前10時～12時までは事務員の高野さん、山口さんが応対します。それ以外はファックスサービス、メールまたは留守番電話に、連絡先とメッセージを録音してください。

同窓生の活躍を
お寄せください！

〒432-8038 浜松市中区西伊場町3-1
►TEL&FAX… 053-456-0662(同窓会専用)
►E-MAIL …… hama24@hamanishi.org

郵送
連絡先

<https://hamanishi.org/>



浜松西高H.P.で百周年特設サイトまで
イトからこれまでの同窓会報誌をご覧
いただけます。

PCやスマフォで
西高同窓会HPを！

暫定版 | 令和4年度(令和5年4月進学) 入試結果概要

2023/4/30 現在

1 入試合格状況(推薦、AO等含む)

	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国公立大	121	16	137	125	8	133	122	17	139
私立四大	612	69	681	617	54	671	671	111	782
国公私立短大	2	2	1	1	1	1	1	1	1
管外大学校	1	1	1	1	1	1	1	1	1
各種専門学校	4	2	6	6	6	1	7		

2 国公立大学

大学名	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
北見工業大	1	1	1				1	1	1
室蘭工業大									
帯広畜産大	1	1	1						
北海道大	1	1	8	8	1	1	2		
弘前大									
岩手大									
東北大	5	5	1	1	1	1	1		
宮城教育大									
秋田大	2	2	2	2	1	1	1		
茨城大	1	1	3	3	1	1			
筑波大	4	4	3	3	3	1	4		
宇都宮大									
群馬大				1	1	2			
埼玉大	1	1			1	1	1		
千葉大	1	1	2	2	3	1	4		
お茶の水女子大	1	1			1	1			
東京大	1	3	4	2	2	3	1	4	
東京医科歯科大									
東京外国语大	3	3	1	1	4	4	4		
東京学芸大				2	2				
東京芸術大	1	1							
東京工業大	3	3	1	1	1	1	2		
東京海洋大	1	1			1	1			
東京農工大	1	1			1	1			
一橋大	2	2	4	4	3	3			
電気通信大	1	1	1	1					
横浜国立大	2	1	3	7	7	1	1		
山形大	1	1							
福島大									
新潟大	1	1			1	1			
金沢大	4	1	5		2	2			
福井大				1	1		1	1	
富山大	1	1							
山梨大	2	2			2	1	3		
信州大	4	2	6	1	1	2	1	3	
静岡大	17	1	18	18	2	20	11	1	12
浜松医大	2	2	4	5	5	11	11		
愛知教育大	1	1	1	1	2	2	2		
豊橋技術科学大					1	1	2		
名古屋大	3	1	4	7	1	8	10	2	12
名古屋工大	3	3	1		1	3	3		
岐阜大	2	1	3	3	3	3	3		
三重大				4	4	2	2		
滋賀大	2	2			1	1	1		
京都大	2	1	3	4	4	4	1	5	
京都工芸織維大				1	1	2	1	3	
京都教育大				1	1	2			
大阪大	4	4	3	3	1	1	1		
大阪教育大									
神戸大	2	2	2	2	1	1	1		
奈良教育大									
奈良女子大					1	1			
和歌山大	1	1	2	2	1	1	1		
岡山大						1	1		
広島大	6	6	2	2	4	4	4		
鳥取大									
島根大					1	1	1		
高知大									
徳島大						1	1	2	
香川大				1	1	2			
愛媛大									
九州大	1	1	1	1					
九州工業大	1	1			1	1	1		
長崎大					1	1	1		
宮崎大				1	1	1			
鹿児島大									
鹿屋体育大	1	1			2	2	2		
琉球大									
青森県立保健大									
国際教養大	2	2							
会津大	1	1			1	1			
公立小松	1	1							
前橋工科大									
高崎経済大	1	1							
埼玉県立大									
東京都立大	2	2	4	4	3	3	3		

横浜市立大	2		2	2		2	3		3
富山県立大							1		1
金沢美術工芸大									
石川県立大									
都留文科大	1		1	3		3	2		2
長野県立大					1	1			
長野県立看護大					1	1			
岐阜薬科大									
静岡県立大	6	1	7	7	1	8	5	2	7
静岡文化芸大	1		1	1	1	2	2		2
静岡県立大農林環境専門職	1		1						
名古屋市立大	1		1	3		3	2		2
福井県立大	1		1						
敦賀市立看護大	1		1						
京都府立大									
京都府立医科大					1	1			
京都市立芸術大									
大阪公立大(府市合併)	2	1	3	1	1	1			
兵庫県立大	1		1				1		1
福知山公立大	1		1				1	1	1
和歌山県立医科大							1	1	1
県立広島大							1	1	
広島市立大							2		2
尾道市立大						1	1		
北九州市立	1		1						
福岡女子大				1	1				
長崎県立大					1	1			
宮崎公立大							1	1	1
宮崎県立看護大	1		1						

3 私立大学(抜粋)

	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
慶應義塾大	9	3	12	5		5	9	5	14
早稲田大	9	2	11	21		21	1	1	22
明治大	25	6	31	26		26	24	7	31
立教大	15		15	15		15	7		7
法政大	17		17	10	1	11	18	2	20
同志社大	23	2	25	26		26	17	2	19
立命館大	92	10	102	57	4	61	55	19	74
関西学院大	12	3	15	7	2	9	11		11
関西大	19	1	20	5	2	7	21		21
近畿大	16	3	19	25	6	31	23	10	33
上智大	3		3	8		8	8	8	8
中央大	19	3	22	20	1	21	24	20	44
青山学院大	11	2	13	17		17	9	2	11
東京理科大	22	8	30	11		11	15	3	18
芝浦工大	5	3	8	9		9	5	4	9
東京農大	5	1	6	3		3	10		10
明治学院大	6		6	7		7	2		2
日本大	12	4	16	23	4	27	7	1	8
東洋大	7		7	25		25	8		8
駒澤大	5		5	12	1	13	7		7
専修大	5		5	7		7	10		10
常葉大	27		27	12	1	13	26		26
聖隸クリストファー大	9	1	10	8		8	8	2	10
南山大	25	3	28	13		13	18	4	22
名城大	25		25	35	4	39	21	8	29
中京大	13		13	17		17	29		29
愛知大	13		13	4		4	21	1	22
愛知学院大	2		2	2		2	4	1	5
藤田医科大	3		3	5		5	1		1
獨協大	1		1				5		5
成蹊大	6		6	3		3	7	1	8
成城大				3		3	1	4	
学習院大	1	1	2	7		7	3		3
北里大	10		10	3		3	8		8
国際基督教大							3		3
順天堂大	3		3				5		5
東海大	10	2	12	6		6	9		9
津田塾大	1	1	2	4		4	5		5
東京女子大	3		3	5		5	2		2
日本女子大	1		1	1		1	3	1	4
神奈川大	9	2</							

